

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
現金						137,698
普通預金	山陰合銀/本部					1,541,026
普通預金	山陰合銀/かなぎ園 ア					15,110,890
普通預金	山陰合銀/かなぎ園 イ					4,543,507
普通預金	山陰合銀/ショート					1,574,026
普通預金	J Aいづみ中央/ショート					9,453,632
普通預金	山陰合銀/デイ					10,430,090
普通預金	日本海信金/デイ					7,821,431
普通預金	J Aいづみ中央/デイ					6,910,923
普通預金	浜田郵便局/デイ					10,732,573
普通預金	山陰合銀/居宅					11,680,287
事業未収金			小計			79,936,083
立替金			小計			49,926,647
			流動資産合計	0	0	130,003,437
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	(かなぎ福祉会拠点区分)島根県浜田市金城町七条イ1046-5		第1種社会福祉事業の特別養護老人ホーム かなぎ園等に使用している			116,043,699
建物	(かなぎ福祉会拠点区分)島根県浜田市金城町七条イ1046-5	2008年度	第1種社会福祉事業の特別養護老人ホーム かなぎ園等に使用している	239,898,797	135,694,921	104,203,876
	(かなぎ福祉会拠点区分)島根県浜田市金城町七条イ1046-5	2008年度	第1種社会福祉事業の特別養護老人ホーム かなぎ園等に使用している	50,579,142	20,022,257	30,556,885
	(かなぎ福祉会拠点区分)島根県浜田市浅井町122-2	2008年度	第2種社会福祉事業の緑ヶ丘デイサービスセンター等に使用している	52,195,244	19,809,231	32,386,013
			小計			167,146,774
			基本財産合計	342,673,183	175,526,409	283,190,473
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	(かなぎ福祉会拠点区分)島根県浜田市金城町七条イ1046-5	2008年度	かなぎ園 1階書庫	124,688	124,687	1
	(かなぎ福祉会拠点区分)島根県浜田市浅井町122-2	2008年度	緑ヶ丘デイ自転車置き場	272,343	272,342	1
			小計			2
構築物	案内看板 他9件		かなぎ園案内板 (2ヶ所)	12,223,147	7,225,253	4,997,894
車両運搬具	車椅子使用車 島根500は2791 ト 374742 他8件		緑ヶ丘デイ利用者送迎用	13,613,706	13,070,784	542,922
器具及び備品	耐火金庫 N O . 5 0 6 事務室 他 NV350特ワボ 800さ8938		かなぎ園事務室耐火金庫 N O . 5 0 6 緑ヶ丘デイ利用者送迎用	50,762,986 3,528,000	36,692,255 1,411,200	14,070,731 2,116,800
権利	電話加入権 他3件		かなぎ園電話加入権	220,000	0	220,000
施設・整備等積立資産						144,742,020
			その他の固定資産合計	81,346,331	59,397,982	166,690,369
			固定資産合計	424,019,514	234,924,391	449,880,842
			資産合計	424,019,514	234,924,391	579,884,279
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金						9,539,016
職員預り金						1,760,176
			流動負債合計	0	0	11,299,192
<b>2 固定負債</b>						
リース債務						2,058,000
			固定負債合計	0	0	2,058,000
			負債合計	0	0	13,357,192
			差引純資産	424,019,514	234,924,391	566,527,087

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・使用目的等欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産及び各負債の使用目的を簡潔に記載すること。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意すること。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当しえるものと、該当しえないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、合計欄を設けて、貸借対照表価額と一致させるものとする。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載すること。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)についてのみ「減価償却累計額」欄を記載すること。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両ナンバーは任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。
- ・負債については、使用目的等の欄の記載を要しない。